



2023年10月18日

各位

上場会社名 株式会社シヨクブン
代表者 代表取締役社長 吉田 朋春
(コード9969 東証スタンダード、名証メイン)
問合せ先責任者 管理本部長 小川 剛央
(TEL052-773-1011)

業績予想の修正に関するお知らせ

2024年3月期第2四半期累計期間業績予想について、2023年5月10日に公表した業績予想について下記の通り修正いたしましたので、お知らせします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 2024年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2023年4月1日~2023年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想(A)	3,449	21	22	7	0.47
今回修正予想(B)	3,109	△31	△33	△48	△3.15
増減額(B-A)	△340	△52	△55	△55	
増減率(%)	△9.9	-	-	-	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2023年3月期第2四半期)	3,317	2	△14	81	5.34

(2) 2024年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(2023年4月1日~2023年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想(A)	3,449	21	22	7	0.47
今回修正予想(B)	3,109	△30	△31	△45	△2.97
増減額(B-A)	△340	△51	△53	△52	
増減率(%)	△9.9	-	-	-	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2023年3月期第2四半期)	3,314	△2	10	106	6.91

2. 修正等の理由

(1) 第2四半期連結累計期間業績予想

当第2四半期連結累計期間につきましては、新型コロナウイルス感染症の位置づけ移行に伴う制限緩和を受けた外食回帰と中食機会の減少、物価高による可処分所得の減少といった外部環境の変化等により、売上高は前回発表予想を下回る見込みです。また、仕入れの見直しや自動化の推進などにより原価および販売費の抑制を推進してまいりましたが、予想を上回る原材料費およびエネルギー価格の高止まりや、下期の新ブランドのリリースに向けた開発費・広告宣伝費の増額の影響により、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益いずれも前回発表予想を下回る見込みです。

これらの理由により、31億9百万円の売上高、31百万円の営業損失、33百万円の経常損失、48百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失となる見込みです。

(2) 通期連結業績予想

比較的若い年齢層の利用客に向けたアプリ注文専用の新ブランド「Meafill(ミーフィル)」、並びに週末用の時短調理メニュー「Speedish(スピーディッシュ)」を新設し、10月より販売を開始いたしました。BtoB事業では、外食事業での当社開発商品の採用や給食事業への納入が始まるなど、今後も取引を拡大させてまいります。また、既存の宅食事業につきましても、有名外食ブランドとのコラボレーションにより、主力メニューキットの献立を強化するほか、新たに製作したテレビCMを投下して東海・関西地域での販売体制を更に強化してまいります。既に着手しているこれらの諸施策については、下期より本格的な売り上げ計上が見込まれることに加え、例年通り、年末商戦を中心とした下期での売上増加を図ってまいります。また、一部作業の自動化による製造工程の効率化や、自動配送システム「ルージア」の導入拡大による配送営業の効率化等により、下期以降、製造原価および販売費の抑制に一定の効果を見込みます。

引き続き上期と同様の原材料費およびエネルギー価格の高止まりが見込まれるものの、以上の取り組みの進捗を踏まえ、通期連結業績予想につきましては、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益いずれも従来予想を据え置きます。

(3) 第2四半期累計期間個別業績予想及び通期個別業績予想

個別の第2四半期累計期間業績予想につきましても、連結と同様の理由により修正いたします。また、個別の通期業績予想につきましても、連結と同様の理由により据え置きます。

※ 業績予想等につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上